

NYマーケットレポート(2013年3月1日)

昨晚のNY外国為替市場は、やや取引材料に乏しい中、序盤のドル円・クロス円は小動きの展開で始まりました。ただ、ユーロに関しては、ユーロ圏の製造業景気指数が縮小したことや、失業率が過去最悪を更新したことを受けて、ECBによる利下げ観測が浮上し、欧州市場から主要通貨に対して軟調な展開が続きました。その後、米製造業関連の経済指標が市場予想を上回る結果となったことや、日銀の緊急金融会合の話がマーケットで流れたことを受けて円売りが優勢となり、ドル円・クロス円は大きく上昇する動きとなりました。ただ、午後には週末で薄商いとなり、小動きの展開が続きました。

2013/3/1 (金)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	92.60	92.74	92.45
EUR/JPY	121.06	121.26	120.74
GBP/JPY	140.45	140.74	140.22
AUD/JPY	94.65	94.84	94.44
EUR/USD	1.3076	1.3084	1.3053

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	93.04	92.57
EUR/JPY	121.44	120.43
GBP/JPY	140.68	139.23
AUD/JPY	94.84	94.50
EUR/USD	1.3102	1.2987

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	93.57	93.69	92.63
EUR/JPY	121.84	122.19	120.35
GBP/JPY	140.65	140.93	139.13
AUD/JPY	95.43	95.61	94.48
NZD/JPY	77.16	77.35	76.39
EUR/USD	1.3023	1.3042	1.2966
AUD/USD	1.0200	1.0216	1.0182

米主要株	終値	前日比
米ダウ平均	14089.66	+35.17
S&P500	1518.21	+3.53
NASDAQ	3169.74	+9.55
その他主要株	終値	前日比
🇨🇦 トロント総合	12773.12	-48.71
🇧🇷 ボルサ指数	43995.72	-125.27
🇮🇳 ポベスパ指数	56883.99	-540.30

3/4 経済指標スケジュール

08:50 【日】2月マネタリーベース
 09:00 【NZ】2月ANZ商品価格指数
 09:01 【英】2月ホームトラック住宅価格
 09:30 【豪】1月住宅建設許可件数
 17:00 【トルコ】2月消費者物価指数
 17:00 【トルコ】2月生産者物価指数
 17:30 【香港】1月小売売上高
 18:00 【南ア】2月Naamsa自動車販売
 18:30 【欧】3月センチックス投資家信頼感
 18:30 【英】2月建設業PMI
 19:00 【欧】1月生産者物価指数
 22:30 【シンガポール】2月購買部景気指数

・ユーロ圏財務相会合

欧州主要株	終値	前日比
英FT100	6378.60	+17.79
仏CAC40	3699.91	-23.09
独DAX	7708.16	-33.54
ST欧州600	289.02	-0.92

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1572.30	-5.80
NY 原油	90.68	-1.37

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.23%	0.24%
3年債	0.34%	0.34%
5年債	0.74%	0.77%
7年債	1.22%	1.26%
10年債	1.84%	1.88%
30年債	3.05%	3.09%

(出所:ブルームバーグ)

NY 市場レポート

22:00

ドル/円 92.81 ユーロ/円 120.61 ユーロ/ドル 1.2998

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6319.67	-41.13	ダウ INDEX FUTURE	13983	-55
仏 CAC40	3675.59	-47.41	S&P500 FUTURE	1505.70	-7.60
独 DAX	7670.18	-71.52	NASDAQ FUTURE	2726.25	-11.75

(出所:ブルームバーグ)

22:30

◀ 経済指標の結果 ▶

1月米個人所得(前月比) -3.6% (予想 -2.4%・前回 2.6%)

1月米個人支出(前月比) 0.2% (予想 0.2%・前回 0.1%)

前回発表の0.2%から0.1%に修正



(出所:ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《米個人所得・支出》

	1月	12月	11月	10月	9月	8月
個人所得	-3.6	2.6	1.0	0.1	0.4	0.1
賃金・給与	-0.6	0.7	1.1	-0.2	0.4	0.0
可処分所得	-4.0	2.7	1.0	0.1	0.4	0.1
個人消費支出	0.2	0.1	0.4	-0.1	0.8	0.3
個人貯蓄率	2.4	6.4	4.0	3.4	3.3	3.7

《 経済指標の結果 》

1月米 PCE デフレーター (前年比) 1.2% (予想 1.2%・前回 1.3%)
 1月米 PCE コア・デフレーター (前月比) 0.1% (予想 0.2%・前回 0.0%)
 1月米 PCE コア・デフレーター (前年比) 1.3% (予想 1.3%・前回 1.4%)



(出所:ブルームバーグ)

《 経済指標の結果 》

12月カナダ GDP (前月比) -0.2% (予想 -0.2%・前回 0.3%)
 4Q カナダ GDP (前期比年率) 0.6% (予想 0.6%・前回 0.6%)

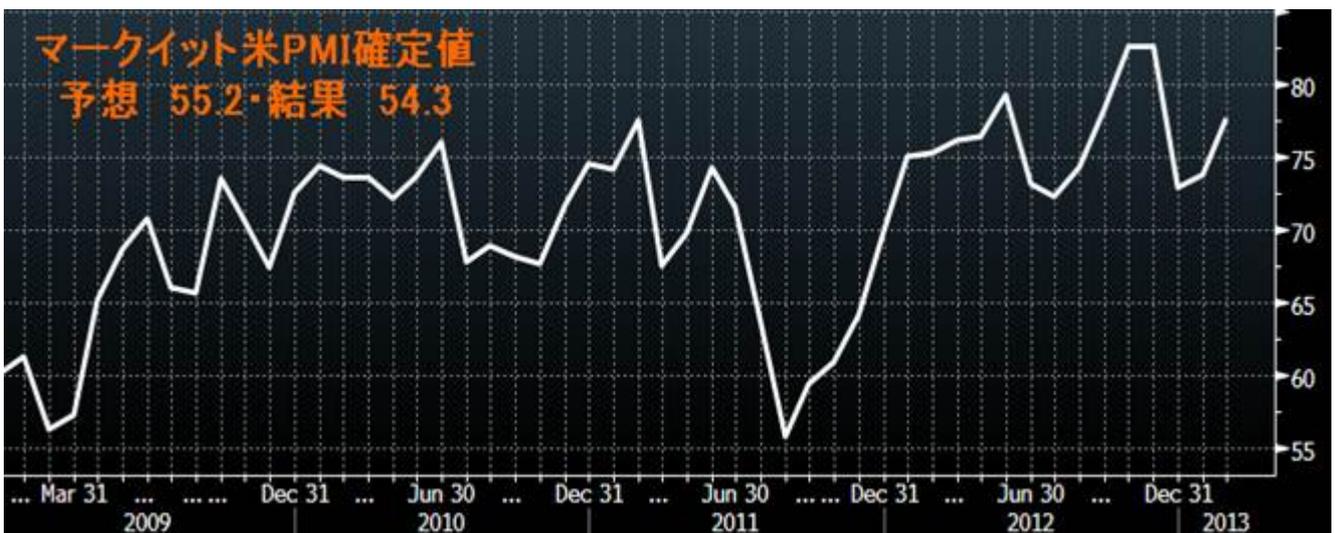


(出所:ブルームバーグ)

22 : 58

《 経済指標の結果 》

マーケット米 PMI 確定値 54.3 (予想 55.2・前回 55.2)



(出所:ブルームバーグ)

23 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	13990.98	-63.51
ナスダック	3141.07	-19.12

(出所:ブルームバーグ)

23 : 55

◀ 経済指標の結果 ▶

2月ミシガン大学消費者信頼感指数 77.6 (予想 76.3・前回 76.3)

経済指標データ

◀ ミシガン大学消費者信頼感指数 ▶

2月・・・1月・・・12月・・・11月・・・10月・・・9月
 消費者信頼感・・・77.6・・・73.8・・・72.9・・・82.7・・・82.6・・・78.3
 景気現況指数・・・89.0・・・85.0・・・87.0・・・90.7・・・88.1・・・85.7
 消費者期待指数・・・70.2・・・66.6・・・63.8・・・77.6・・・79.0・・・73.5

1年インフレ・・・3.3・・・3.3・・・3.2・・・3.1・・・3.0・・・3.1
 5年インフレ・・・3.0・・・2.9・・・2.9・・・2.8・・・2.8・・・2.7

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

2月ISM製造業景況指数 54.2 (予想 52.5・前回 53.1)



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

《米 ISM 製造業景況指数》

	2月	1月	12月	11月	10月	9月
景気	54.2	53.1	50.2	49.9	51.7	51.5
新規受注	57.8	53.3	49.7	51.1	52.8	51.7
生産	57.6	53.6	52.6	53.1	53.3	51.4
雇用	52.6	54.0	51.9	50.1	52.3	53.7
入荷遅延	51.4	53.6	53.7	50.1	49.9	50.5
在庫	51.5	51.0	43.0	45.0	50.0	50.5
価格	61.5	56.5	55.5	52.5	55.0	58.0
受注残	55.0	47.5	48.5	41.0	41.5	44.0

《 経済指標の結果 》

1月米建設支出（前月比） -2.1%（予想 0.4%・前回 1.1%）
 前回発表の0.9%から1.1%に修正



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《建設支出》

	1月	12月	11月	10月	9月	前年同月比
総建設支出	-2.1	1.1	0.1	0.7	0.5	7.1
民間部門	-2.6	2.1	0.2	0.6	0.8	21.1
住居	0.0	2.2	0.6	1.3	1.1	22.0
オフィス	0.9	2.1	-0.9	-1.1	-0.2	26.2
商業	0.6	0.6	-1.5	1.3	0.2	3.0
輸送	-1.0	-1.9	4.9	3.7	7.3	4.4

公共部門・・・-1.0・・・-1.0・・・-0.1・・・1.0・・・-0.1・・・-3.0
 教育・・・-3.5・・・0.2・・・0.3・・・-0.5・・・0.5・・・-8.5
 道路・・・0.9・・・0.4・・・0.9・・・-0.9・・・-1.4・・・4.2

0:40

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、1月の米個人所得・消費統計で、個人所得が20年ぶりの大きな落ち込みとなったことを背景に、米経済の先行き懸念が拡大したことから売りが先行した。しかし、消費関連の経済指標が予想を上回ったことから、大きく下げ幅を縮小した。

《 ここまでの欧州のポイント 》

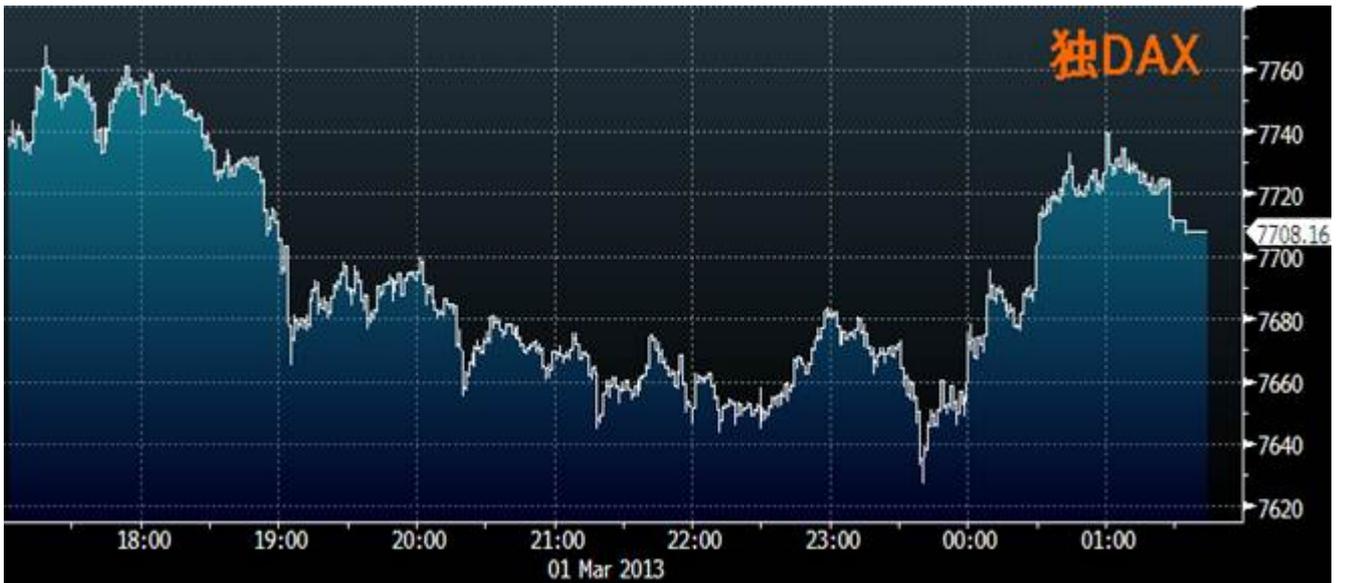
- ①スウェーデン統計局が発表した10-12月期のGDPはゼロ成長となった。7-9月期は+0.3%だった。欧州の債務危機に伴う輸出低迷が響いた。北欧一の5000億ドル（約46兆円）規模を誇るスウェーデン経済だが、リセッションのユーロ圏からの需要の低迷に苦しんでいる。前年同期比では+1.4%と、7-9月期の+0.7%から伸びが加速した。
- ②イタリア統計局の発表によると、1月の失業率は11.7%と、昨年12月の11.3%から上昇し、少なくとも1992年以来で最高となった。イタリア経済は昨年10-12月期に1.0%縮小したことから、企業が採用を控えた。
- ③EU統計局は、ユーロ圏17カ国の1月の失業率が11.9%、失業者数は1899.8万人だったと発表した。失業率は前月より0.1ポイント悪化、失業者数も20.1万人増加しており、いずれも1995年の統計開始以来の最悪水準となった。欧州債務危機による景気悪化で企業のリストラが続き、雇用情勢は悪化に歯止めがかからない。
- ④EU統計局が発表した2月のユーロ圏消費者物価指数は、前年同月比+1.8%。上昇率は1月の2%から低下した。食料品の値上がり鈍化がエネルギー価格上昇の影響を打ち消した。財政引き締めによる増税効果や統制価格の引き上げ、ユーロ建てのエネルギー価格上昇の前年比ベースの影響が薄れるのに伴い、インフレ率は今後数カ月に低下し4月に1.4%まで下がるとの見方も出ている。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6378.60	+17.79
仏 CAC40	3699.91	-23.09
独 DAX	7708.16	-33.54
ストック欧州 600 指数	289.02	-0.92
ユーロファースト 300 指数	1168.64	-2.83
スペイン IBEX35 指数	8187.10	-43.20
イタリア FTSE MIB 指数	15675.37	-245.88
南ア アフリカ全株指数	40134.97	+425.41

(出所:ブルームバーグ)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。英景況指標の悪化やユーロ圏の失業率が最悪水準となったことを背景に売りが先行した。ただ、午後は製造業関連などの米指標改善を好感した買いが入り、英 FT100 はプラスに転じた。



(出所:ブルームバーグ)

【2月の米自動車販売】

- ・クライスラーは+4.0% (予想+4.4%)
- ・フォードは+9.3% (予想+9.8%)
- ・GMは+7.2% (予想+4.9%)
- ・トヨタは+4.3% (予想+8.5%)
- ・日産は-6.6% (予想-3.3%)
- ・本田は-2.0% (予想+0.7%)

2:00

米主要株価・中盤

ダウ 14066.83(+12.04)、 S&P500 1511.30(-3.38)、 ナスダック 3161.37(-1.18)

《 経済指標のポイント 》

(1) 1月の米個人所得・消費統計によると、個人消費支出は前月比+0.2%と3ヵ月連続のプラスとなった。個人所得は-3.6%と1993年1月以来20年ぶりの大きな落ち込みをみせた。

①消費の内訳は、自動車や家具などの耐久財が-0.8%と3ヵ月ぶりにマイナスに転じ、食品やエネルギーなどの非耐久財は横ばい。サービスは+0.4%と5ヵ月連続で伸びた。また、可処分所得は-4.0%と過去最大のマイナス幅となった。貯蓄率は2.4%と2007年11月以来の低い水準。

②FRBが物価安定の目安とする個人消費支出物価指数は、前年同月比で+1.2%と、引き続きインフレ目標の2%を下回った。変動の激しい食品とエネルギーを除いたPCEコア物価指数は、前年同月比で+1.3%、前月から+0.1%にとどまった。

③個人所得は減税終了と歳出削減が重なる「財政の崖」協議に伴う増税を見込んだ配当の前倒しなどから急増した前月の反動で一時的に大きく減ったとみられる。米個人消費は緩やかなプラスを保ちつつ景気回復を支えているが、雇用情勢や連邦財政の赤字削減をめぐる不透明感などが消費者心理の負担となる懸念も残る。

(2) 2月のミシガン大学消費者信頼感指数確報値は77.6で、2月の速報値に比べて1.3ポイント上昇し、昨年11月以来、3ヵ月ぶりの高水準となった。1年後のインフレ期待は3.3%で、2月速報値から変わらなかった。

(3) 1月の米建設支出高は年率換算で前月比-2.1%の8832億8100万ドルと、2011年7月以来1年半ぶりの大幅な落ち込みとなった。前年同月比は+7.1%。これまで堅調だった民間部門が宿泊や観光・遊技、電力などの住宅以外の施設建設が振るわなかっただけでなく住宅建設も伸び悩み、公共部門の低迷が重なって全体水準を引き下げた。ただ、前年比で見ると民間部門は住宅建設、住宅以外の施設建設がいずれも増加基調にある。

4 : 20

NY金は、中心限月が前日比5.80ドル安の1オンス=1572.30ドルで取引を終了した。

5 : 20

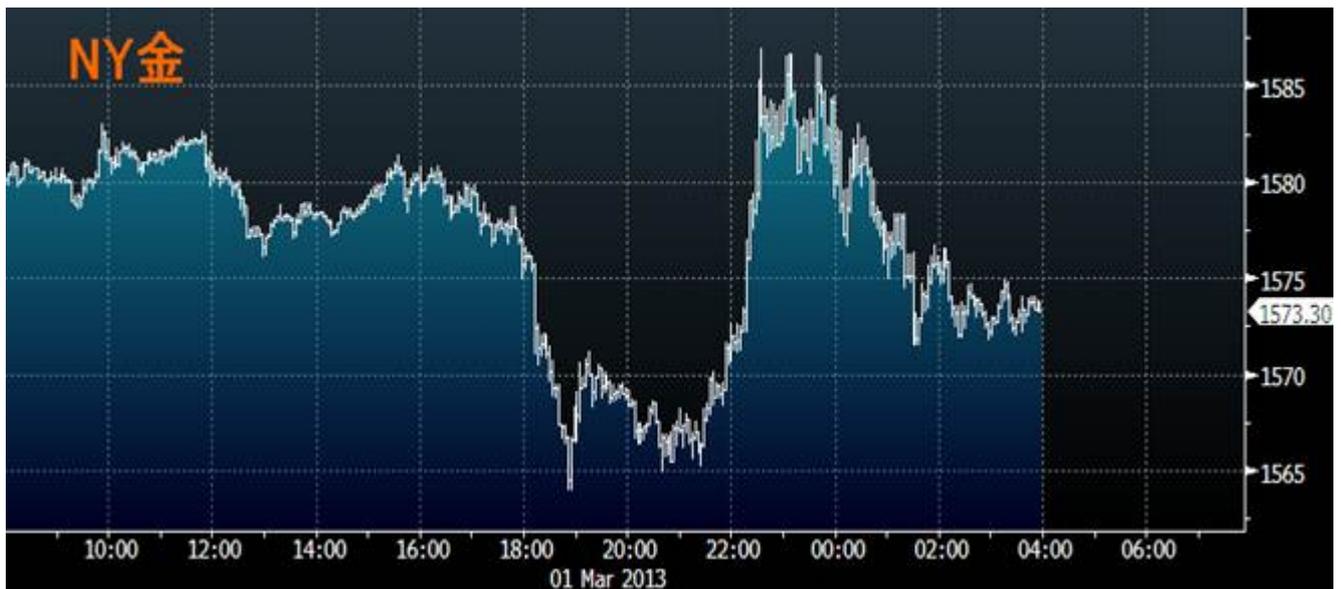
NY原油は、中心限月が前日比1.37ドル安の1バレル=90.68ドルで取引を終了した。

主要商品	終値	前日比
NY GOLD	1572.30	-5.80
NY 原油	90.68	-1.37

(出所:ブルームバーグ)

《 NY 金市場 》

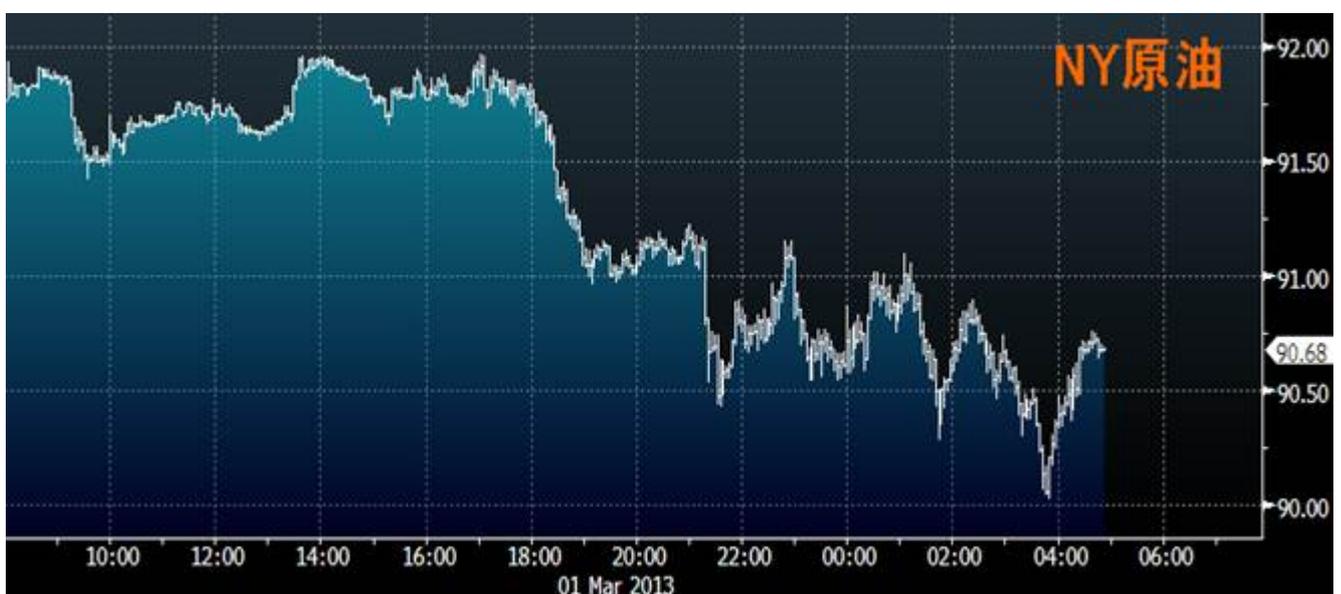
NY金は、製造業や個人消費関連の米経済指標の改善を受けて米国株が上昇したことから、金を売って株に投資資金を振り向ける動きが加速した。また、ドルが主要通貨に対して上昇したことも圧迫材料となった。終値ベースでは昨年7月中旬以来、約7ヵ月半ぶりの安値水準となった。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、中国の製造業関連の景況指数がさえないことから中国経済の先行き不安から売りが先行した。また、米連邦歳出の強制削減が1日に発動する見通しとなったことで、強制削減が続けば米景気の回復が遅れるとの懸念が強まったことも圧迫材料となった。終値ベースでは昨年12月下旬以来、約2ヵ月ぶりの安値水準となった。



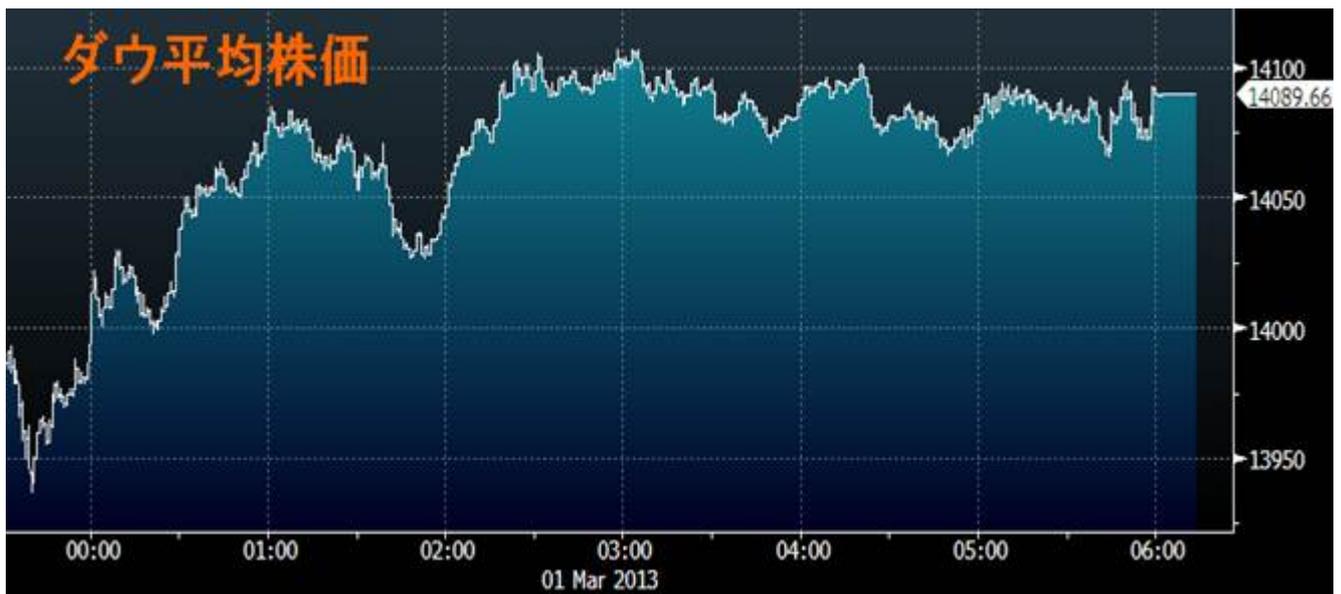
(出所:ブルームバーグ)

米主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	14089.66	+35.17	14107.09	13937.60
S&P500 種	1518.21	+3.53	1519.99	1501.48
ナスダック	3169.74	+9.55	3171.50	3129.39

(出所:ブルームバーグ)

《米株式市場》

米株式市場は、1月の米個人所得・消費統計で、個人所得が20年ぶりの大きな落ち込みとなったことを背景に、米経済の先行き懸念が拡大したことから売りが先行した。しかし、消費関連の経済指標が予想を上回ったことから、プラス圏まで値を戻して引けた。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比で116ドル安まで下落した。その後、買い戻しが優勢となり、プラス圏まで値を戻して引けた。



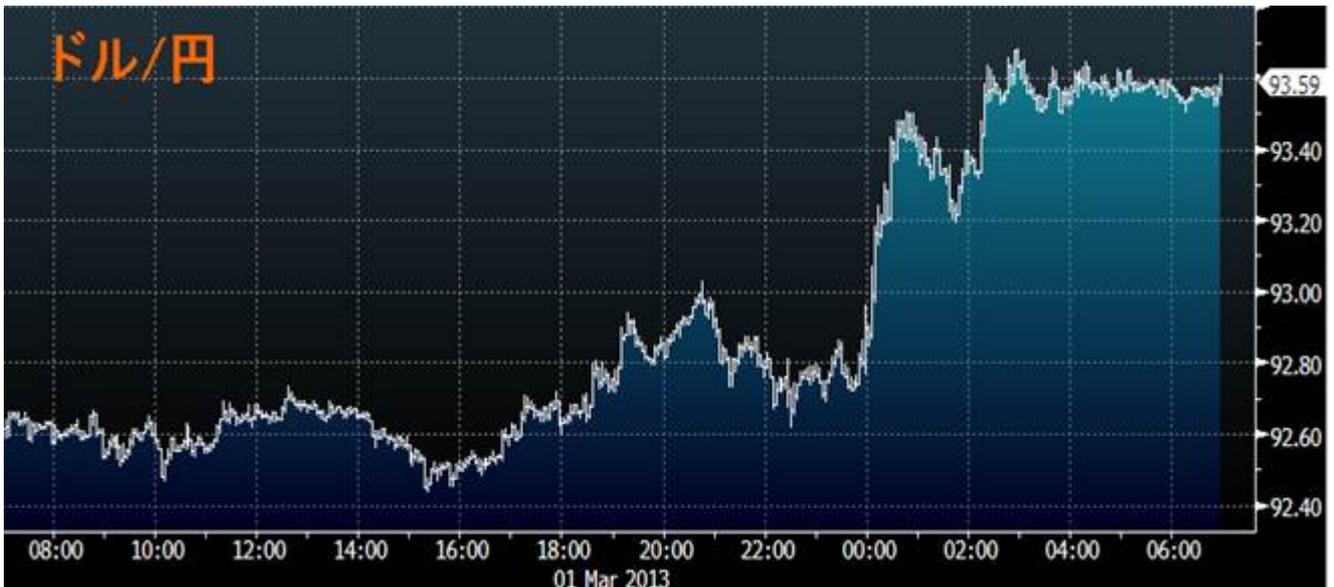
(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	93.57	93.69	92.63
EUR/JPY	121.84	122.19	120.35
GBP/JPY	140.65	140.93	139.13
AUD/JPY	95.43	95.61	94.48
NZD/JPY	77.16	77.35	76.39
EUR/USD	1.3023	1.3042	1.2966
AUD/USD	1.0200	1.0216	1.0182

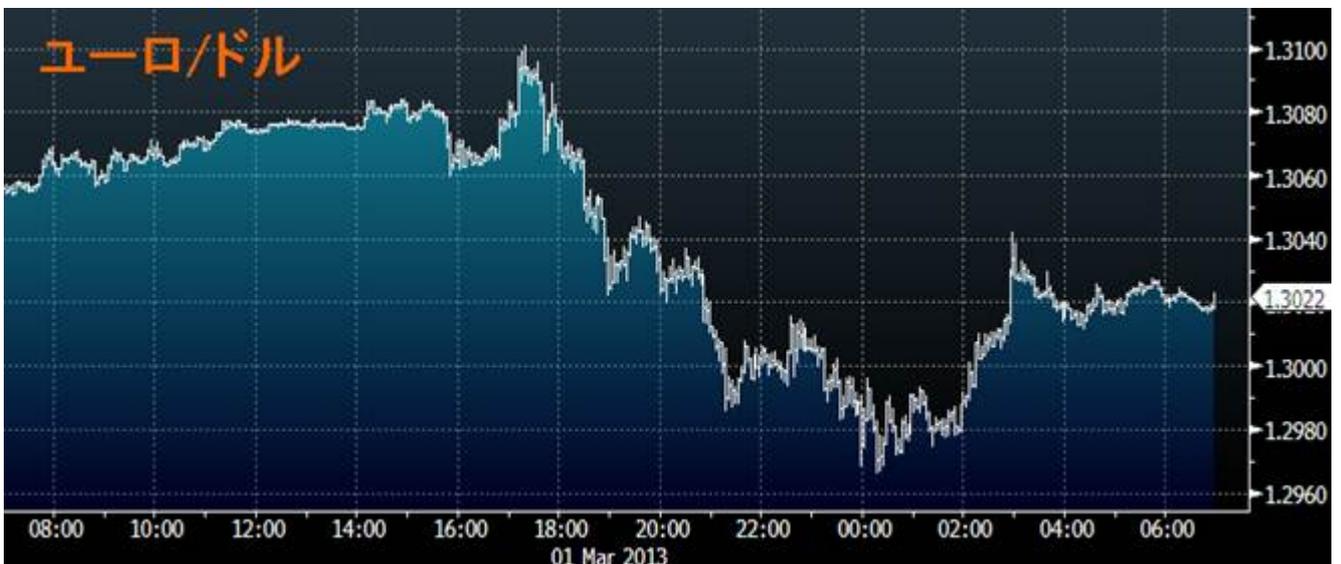
(出所:ブルームバーグ)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤はやや材料に乏しく小動きの展開が続いた。しかし、米製造業関連の経済指標が予想を上回る結果となったことや、日本の金融緩和に関する思惑から円売りが優勢となり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。